

令和3年度 入札監視委員会（第5回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	令和4年3月7日（月）1300～1730 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第4会議室		
委員 (◎：委員長)	天野 康代（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 田才 晃（大学院教授） ◎細田 孝一（大学教授） (敬称略：五十音順)		
審議対象期間	令和3年10月1日 ～ 令和3年12月31日		
審議対象件数	38件		
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）			
抽出案件	総件数 4件	(審議概要) ・ 契約状況、指名停止措置状況及び低入札価格調査等について報告 ・ 抽出案件の概要説明	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		1件
	一般競争(政府調達協定対象外)		1件
	企画競争方式		0件
	随意契約方式		0件
建設コンサルタント業務等	2件		
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答	
	<p>①板妻(3)管理棟新設電気その他工事 (一般競争入札方式(政府調達協定対象外))</p> <p>事案概要に整備理由として「教育人員等の増加に伴い」とあるが、浄化槽整備の理由は何か。</p> <p>当該事案は複数の工事を実施するわりに価格は低く、特殊な工事もないように思われるが、なぜ1者しか応札しなかったのか。</p>	<p>浄化槽を管理する板妻駐屯地の部隊の教育人員が増えるため、浄化槽の機能の維持に必要なフローアを設置する管理棟の新設工事を行うものである。</p> <p>本工事は、複数の工事を実施するもので、電気工事では主体となるのが発電機本体の機器の設置であり、他に機械・建築・土木工事を行う。</p> <p>仮に、電気工事として発電機の機器の設置工事のみを行うのであれば、数者の応募があったかもしれないがそれでも工事規模が小さいので、敬遠されたのかもしれない。</p>	

1回目と2回目の入札で、入札金額に1千万円の差があるが、差が出た経緯は。

1回目の入札時に直接工事費や共通費に全般的な乖離があり、補足説明を行ったため、金額を見直したものと考える。

**②防大(3)理工学館B棟新設建築工事
(一般競争入札方式(政府調達協定対象))**

課題の設定及び評価方法についてどのように行っているか。

本事案については、鉄筋コンクリート造の建物のため鉄筋コンクリート造の品質確保及び施工管理に関する提案を1課題設定した。
評価の方法は、5名の評価者で評価し、最上位と最下位の評価点を除外した3名の平均点で算出し、それぞれ有効な提案を2点、優れている提案を4点、特に優れている提案を6点として、採点している。

**③池子米軍(3)生活支援施設新設等建築設計
(一般競争入札方式(政府調達協定対象外))**

入札・契約状況調書を見ると、辞退した者が2者、無効となった者が2者あるが、理由は何か。

辞退については、開札前に辞退を申し入れた又は、入札がなかったためであるが、理由は承知していない。

無効については、開札後、履行確実性の評価を行うための追加資料の提出が困難とのことであったため、無効としていたものである。

資料の提出が困難というのは、どのような状態のことか。

落札前に業者に履行体制等の確認するための追加資料を求めるが業者側としても多数の資料が提出できないといった場合である。

履行確実性の要素とは何か。

当該価格による入札の理由、手持ち業務等の状態、配置予定技術者の名簿、過去の給与明細の提出による支払い能力の確認、再委託については再委託先からの見積書の提出等を、業者に対し求めている。

		る。
	<p>④浦郷米軍(3) 棧橋(278) 消火設備新設土木その他設計 (一般競争入札方式(政府調達協定対象外))</p> <p>落札業者が単体ではなく、3者の共同企業体であるが、それぞれの様な会社か。</p> <p>3者の積算の比率を教えてください。</p> <p>なぜJVで公告したのか。</p>	<p>本業務は、土木設計業務、建築設計業務、設備設計業務を合わせて発注しており、日本工営が土木のコンサル、中林建築設計事務所が建築のコンサル、現代空調研究所が設備のコンサルである。</p> <p>日本工営（土木業務）が7～8割、中林建築設計事務所（建築業務）及び現代空調研究所（設備設計）が2～3割である。</p> <p>主体業務が土木のため他の業務は付随するものとして単体で公告したが参加業者がなかったため、2回目の公告で土木コンサル及び建築・設備コンサルを併せた参加も可能とするため単体又は共同體で公告したものである。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし。	

2. 談合疑義案件の処理状況について

	談合疑義案件	総件数 0件	(報告概要)
工	談合情報	0件	
事	点検結果疑義	0件	
業	談合情報	0件	

務	点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	なし。		
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし。		
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について			
審議概要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析、調査項目別の平均落札率等の分析等を行った資料を委員に配布・報告。		
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	なし。		
4. 再苦情処理（再説明請求回答）			
<p>令和3年12月2日付指名停止措置に対する指名停止措置業者からの再苦情申し出について、当該工事の入札及び契約の概要、並びに当該再苦情にいたる経緯について説明。</p> <p>（回答） 申し立ては認められない。</p> <p>（理由） 「入札監視委員会設置要綱について（通達）」（防整施（事）第152号。28.3.31）第2に基づき、本件に関する入札及び契約に関し審議を行ったところ、法令及び規則上の問題はなかった。 その他の事項については、南関東防衛局入札監視委員会の審議対象外である。</p>			

令和3年度 入札監視委員会（第5回）議事概要

航空自衛隊静浜基地

開催日及び場所	令和4年3月7日（月） 会議方式で実施	
委員 （◎：委員長）	天野 康代（弁護士） 田才 晃（大学院教授） ◎細田 孝一（大学教授） 梅村 靖弘（大学教授） （敬称略：五十音順）	
審査対象期間	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日	
審議対象案件	3 件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数 3 件	(審議概要) ① 静浜基地給食業務における、調理等を実施してもらう契約 ② 静浜基地に高压電力を供給してもらう契約 ③ 静浜基地に低压電力を供給してもらう契約
一般競争	27 件	
指名競争	0 件	
随意契約	778 件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>① 給食業務部外委託：一般競争契約</p> <p>・質問 コロナ感染症により、喫食者数に著しく変化がある場合、契約金額の変動は考えていますか</p> <p>・質問 給食業務部外委託契約については、立上げ当初より焼津給食センターが、継続して落札しているのですか</p>	<p>・回答 今のところ、コロナ感染症により喫食者の大きな変化はない。ただし、喫食者数に大きな変動がある場合には、要求部署である給食小隊と検討した上で、必要に応じて変更契約を実施し対応する。</p> <p>・回答 給食業務については、平成29年度頃から実施しているが、令和2年度までは焼津給食センターと契約を締結していた。ただし、令和3年度契約については、3者の入札参加があり、(株)ホーユーが落札している。</p>

	<p>② 業務用電力（基地）：一般競争契約</p> <p>・質問 入札参加業者である「ゼロワットパワー(株)」については、どのような会社か。</p>	<p>・回答 ゼロワットパワーは再生可能エネルギーを主に供給している会社であり、入札参加資格を有していたので入札に参加してきたものである。</p>
	<p>③ 低圧電力（浜石岳無線中継所）外：随意契約</p> <p>・質問 契約までの流れを教えてください（どのような業者に見積り依頼をして、どのような契約方式による契約であるか）</p>	<p>・回答 約10者程度の見積り依頼による随意契約を追求したが、見積書提出業者がなかったため、中部電力と随意契約を締結することとなった。今年度については、高圧電力同様一般競争契約を追求している。 また、来年度契約については基地HPに契約情報を公開するOC方式（オープンカウンター方式）による契約を追求することで、競争性の拡大に繋がりたいと考えている。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特に意見なし。</p>	
<p>2. 入札談合案件の処理状況について</p>		
<p>談 合 情 報 件 数</p>	<p>総件数 件</p>	<p>(審議概要) ・該当案件なし</p>
<p>談 合 情 報</p>	<p>件</p>	
<p>点 検 結 果 疑 義</p>	<p>件</p>	
<p>○委員からの意見 ○それに対する回答等</p>	<p>意 見 ・ 質 問</p>	<p>回 答</p>
	<p>あり・なし。</p>	

委員会による意見の 具申又は勧告の内容	あり・なし。	
------------------------	--------	--

3. 再苦情処理（再説明請求回答）				
苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数	0件	（備考） ・該当案件なし	
一般競争		0件		
指名競争		0件		
随意契約		0件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし。			
	なし。			

令和3年度 入札監視委員会（第5回）議事概要

航空自衛隊浜松基地

開催日及び場所	令和4年3月7日（月） 会議方式で実施	
委員 （◎：委員長）	天野 康代（弁護士） 田才 晃（大学院教授） ◎細田 孝一（大学教授） 梅村 靖弘（大学教授） （敬称略：五十音順）	
審査対象期間	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日	
審議対象案件	3 件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数 3 件	（審議概要） ① 浜松広報館展示機の移設作業に関する部外委託 ② 広報館都市ガス需給 ③ 高濃度PCB廃棄物（安定器）処分
一般競争	765 件	
指名競争	0 件	
随意契約	1,316 件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>① 浜松広報館展示機の移設作業に関する部外委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問 搬出する機体は処分するのか ・質問 （株）JALファシリティーズはどのような会社か ・質問 （株）トリアド工房はどのような会社か 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答 仕様書に「搬出」と記載の機体のみ浜松基地内の格納庫へ搬出し保管する。 ・回答 飛行機移設・展示等の業務を行っており、航空機に関する知識を有している会社であるが細部は不明。 ・回答 移設作業等を請負う会社であるが細部は不明。

	<p>② 広報館都市ガス需給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問 ガスではなく、電気で供給できないか。 ・質問 仮にガスの高騰で契約変更する場合は仕様書記載のどの部分で協議を行うか 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答 広報館の空調機が、ガスを熱源とする仕様である。 ・回答 ガス需給契約条項第10条契約ガス供給量の変更及び契約調整料金の支払の記載内容によりガス会社と官側が協議を行うことになる。
	<p>③ 高濃度PCB廃棄物（安定器）処分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問 PCB廃棄物はどのようなものか ・質問 安定器が蛍光灯の安定器であれば取り外した際の役務に処分を含めた契約を締結すればもっと安価に処分できたのではないか ・質問 入札ではなく随意契約にした理由はなにか 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答 主に蛍光灯の安定器である。 ・回答 高濃度PCB廃棄物は、法律で排出側事業者が保管し、指定のPCB処理事業所と契約し処分することとされている。 ・回答 国が指定した処分業者であり、競争性がないため随意契約とした。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特に意見なし。</p>	
<p>2. 入札談合案件の処理状況について</p>		
<p>談合情報件数</p>	<p>総件数 件</p>	<p>(審議概要) ・該当案件なし</p>
<p>談合情報</p>	<p>件</p>	
<p>点検結果疑義</p>	<p>件</p>	
<p>○委員からの意見 ○それに対する回答等</p>	<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
	<p>あり・なし。</p>	
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>あり・なし。</p>	

3. 再苦情処理（再説明請求回答）					
苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数		0件		(備考) ・該当案件なし
一般競争			0件		
指名競争			0件		
随意契約			0件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件名	契約方式	内容等	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし。				
	なし。				

令和3年度 入札監視委員会（第5回）議事概要

防衛装備庁陸上装備研究所

開催日及び場所	令和4年3月7日（月） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第4会議室	
委員 （◎：委員長）	天野 康代（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 田才 晃（大学院教授） ◎細田 孝一（大学教授）（敬称略：五十音順）	
審査対象期間	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日	
審議対象案件	673件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数 3件	（審議概要） ・ 契約状況について報告 ・ 抽出案件の概要説明
一般競争	2件	
指名競争	0件	
随意契約	1件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p>① 多チャンネル高速広帯域波形解析装置 （一般競争入札方式（1者応札））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年度には何を購入したか。 ・ 1者だけしか見積を取得できなかったのか。 ・ 当初は最低でも2者が応札できる想定であったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンデンサ等を取得している。 ・ テクトロニクス社の日本法人があるが、要求元に確認したところ、同社からは見積を取得することができなかったことから、最終的に応札の意思表示のあった日本電計（株）より見積を徴収し、それを基に予定価格を算定した。 ・ 貴見のとおり。テクトロニクス社製品を取り扱える正規代理店が都内だけでも15社程度確認できたことから一般競争入札に付したが、結果的に1者応札となったものである。

	<ul style="list-style-type: none"> ・10数会社があるのに、1者からしか見積を徴取できなかったことについて、何か理由として思いつくことはあるか。 ・製品の性質から、ある程度会社も限定されるのではないか。代理店同士の競争というよりも、ある程度メーカー側が仕切っている面もあると考えられることから、事実上1者応札となったのではないかと思慮する。発注者側には特に問題があるとは考えていない。 ・多チャンネル高速広帯域波形解析装置と解析ソフトウェアがセットになっていると思うが、輸出規制にあたるような特殊な物件であった場合、一般競争に付しても差し支えないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、会社側が対応の可否を検討した結果、入札参加を見送った等の要因が考えられる。 ・承知した。 ・米国での国防に関わるようなものである場合、一般的には、エンドユーザー証明に基づき契約を締結しているところであるが、本件については特殊な物件ではあるものの、それに該当するものではない。
	<p>② 電気の供給 (一般競争入札方式(1者応札))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上装備研究所のある場所(相模原市)で、再生可能エネルギーの導入状況(比率)30%以上の応札可能な業者は実際に存在するのか。 ・地域としては限定的となるのか。 ・再生可能エネルギー業者がどこで発電を行っているかは必ずしも関係なく、託送による送電になる。託送料金がリーズナブルになれば、どこで発電しようとどこでも販売することができるということが理論的には可能であるが、まだ理想的な形にはなっておらず、さすがに九州から神奈川県まで持ってくるというのは無理だと思うが、近県であれば、防衛大臣指示にある再生可能エネルギーの利用は不可能ではないと考える。そのような項目を指示されていることは非常に評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応可能な業者は存在していたと考えている。令和3年度分においては3者が応札、令和4年度分においては2者が応札し、いずれも再生可能エネルギーの導入比率100%の業者が落札をしているところ。 ・比較的広範囲な地域への供給が見られるが、企業により小規模な範囲となることも考えられる。 ・承知した。

	<p>③ 水陸両用車の水上域機動性能試験用施設の借上等役務（随意契約方式（1者応募））</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料にある見積状況調書によると、1回目は予定価格の範囲内に達せず、2回目で商議決定となっているが、予定価格としては見積額の調査の中で、若干ズレが生じるものであるのか。 ドックは静水の状態であるが、波が高い状態について造波装置を用いて試験する予定はあるのか。その場合、海外での試験もあり得るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約予定会社から下請けとなる会社に対し、陸上装備研究所が計画している試験内容を説明し必要となる器材等を見積を提出してもらい、契約予定会社が内容を精査した上で、その調整のために必要となる工数に見合う経費を積んで最終的に見積書が提出され、それを基準に実際の試験実施が可能であり妥当であるとして予定価格を作成している。 今後の予定等について承知していないため確認する。 ※確認結果：今後、模型を使用し造波装置を有する水槽により試験を行うことを検討している。
--	--	--

委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし。
--------------------	---------

2. 入札談合案件の処理状況について		
談合情報件数	総件数 0件	(審議概要) ・該当案件なし
談合情報	0件	
点検結果疑義	0件	
○委員からの意見 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	なし。	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	

3. 再苦情処理（再説明請求回答）					
苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数		0件		(備考) ・該当案件なし
一般競争			0件		
指名競争			0件		
随意契約			0件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件名	契約方式	内容等	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし。				
	なし。				